

主催：東京外国語大学附属図書館

協力：清泉女子大学附属図書館

Cuentos
del Japón

東京外国語大学附属図書館第 18 回特別展示
スペイン語 120 周年記念

外国人教師エスパーダの業績

～スペイン語版ちいめん本を中心に～



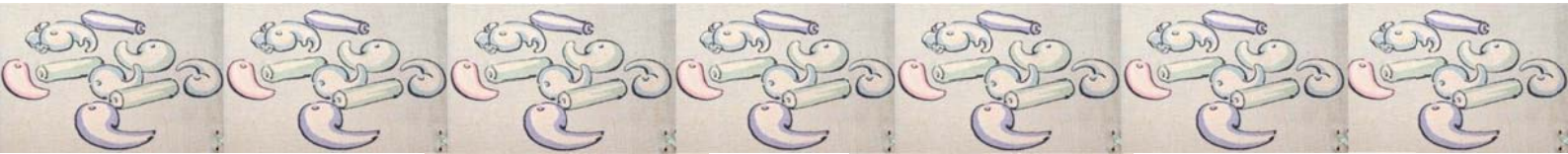
平成 29 年 10 月 23 日 (月) ～ 11 月 6 日 (月)

開館時間：平日 9：00－21：30

土日 13：00－18：30

会場：附属図書館 2 階ギャラリー

ゴンサーロ・ヒメネス・デ・ラ・エスパーダ
Gonzalo Jiménez de la Espada
1874-1938



■はじめに

今から120年前の1897年、本学の前身「高等商業学校附属外国語学校」に日本ではじめてスペイン語専攻の課程が誕生しました。日本におけるスペイン語教育の黎明期といえるこの時期に、スペイン語専攻の第三代外国人教師として活躍したゴンサーロ・ヒメネス・デ・ラ・エスパーダ (Gonzalo Jiménez de la Espada, 1874-1938) は、翻訳を通じて日本文化紹介者としての業績も残しています。色鮮やかな版画が目を引きちりめん本——日本の昔話を翻訳して日本で出版したのですが、このスペイン語版の翻訳は彼エスパーダの手によるものです。

今回の特別展示では、そのちりめん本を中心に、彼が翻訳者として関わった出版物をご紹介します。

■ゴンサーロ・ヒメネス・デ・ラ・エスパーダ

1874年スペインのサラマンカ生まれ。自然学者として著名なマルコス・ヒメネス・デ・ラ・エスパーダ (Marcos Jiménez de la Espada, 1831-1898) を父に持ち、マドリード大学で哲学・文学を学びました。

1907年9月、33歳の時に日本政府の招聘により東京外国語学校（現在の東京外国語大学）の三代目スペイン語教師として来日し、翌年から1916年までの9年半にわたって教鞭をとりました。教育熱心で、生徒たちにスペイン文学を本格的に紹介し、実用語学以外の分野へも目を向けさせました。当時の生徒たちの証言では、「長身である上に上品な風貌であり」、「頬に苦勞ひげを蓄えた長身中肉の品の良い外人」で、「エスパダさん」と呼ばれて慕われたとされます。教え子には永田寛定（1885-1973 『ドン・キホーテ』等スペイン文学の翻訳を手がけた）や笠井鎮夫（1895-1989 スペイン語教本を数多く執筆）といった、今に名を残すスペイン文学者・スペイン語学者たちがいます。

スペイン語教師としての活動に加えて、日本文化をスペイン語世界に紹介する翻訳にも従事し、1909年に新渡戸稲造『武士道』（1900）のスペイン語訳を、1914年にはスペイン語版「ちりめん本」を出版しました。

その後1916年に日本を離れ、スペインに帰国します。そして1938年に生涯を終えました。

■ちりめん本

印刷した和紙を加工し、一面に細かなしわを出したような仕立てにし、和綴り製本した本のことを「ちりめん本」と言います。英語圏ではクレープ・ペーパー・ブックと呼ばれるこのちりめん本は、明治中頃から昭和初期にかけて、主に欧米諸外国人に日本文化を紹介する目的で製作されました。加えて、外国語を学ぶ日本人向けのテキストとしての意味もあったようです。日本の昔話や和歌、日本の風俗・習慣などを題材に、英語の他いろいろな外国語版が刊行されています。

ちりめん本を企画し初めて出版したのは長谷川武次郎（1853-1936）です。1884年頃、長谷川弘文社を立ち上げ、1885年に初めてのちりめん本を発行しました。長谷川は在日のキリスト教宣教師や在日外交官と親交があり、彼らに執筆・翻訳を依頼したのです。

■スペイン語版ちりめん本

長谷川武次郎が1885年から発行し始めたちりめん本の『Japanese Fairy Tale Series』全20編は英語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、ロシア語などで出版されました。エスパーダが英語版から翻訳したとされるスペイン語版は、1914年に『Cuentos del Japón viejo (日本昔話)』と『Leyendas y narraciones japonesas (日本の民間伝承)』各10編の2つのシリーズとして発行されました。ただし、当時の流通はほとんど日本国内に限られ、スペイン語圏では直接的には流通しなかったようです。

なお、エスパーダの翻訳に先駆けて、スペインの文学者フアン・バレーラ (Juan Valera, 1824-1905) が日本の昔話の翻訳を手掛けています。彼は義兄弟より贈られた英語版のちりめん本から2編を訳して、1887年に雑誌『La Ilustración artística』に発表しました。『El espejo de Matsuyama (松山鏡)』と『El pescadorcillo Urásima (浦島)』がそれで、彼の全集のなかの1冊『Cuentos』 (Obras completas de Juan Valera, 第14巻, 1907) に収録されています。



スペイン語版ちりめん本 第一シリーズ

Cuentos del Japón viejo

(日本昔話) 全 10 冊

■左列：裏表紙■

■右列：表紙■



No. 1



Momotaró

『桃太郎』

9丁 ; 15.2cm



No. 2



El gorrión con la
lengua cortada

『舌切雀』

9丁 ; 15.2cm

■左列：裏表紙■

■右列：表紙■

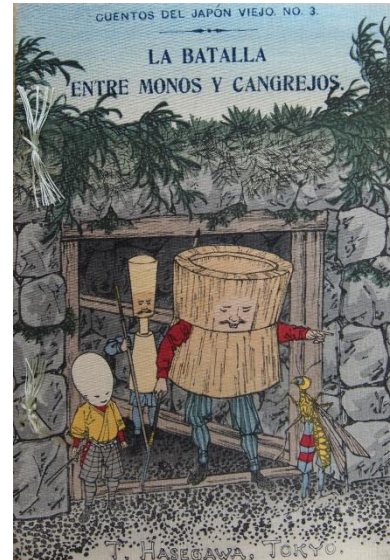
No. 3



La batalla entre
monos y cangrejos

『猿蟹合戦』

7丁 ; 15.2cm



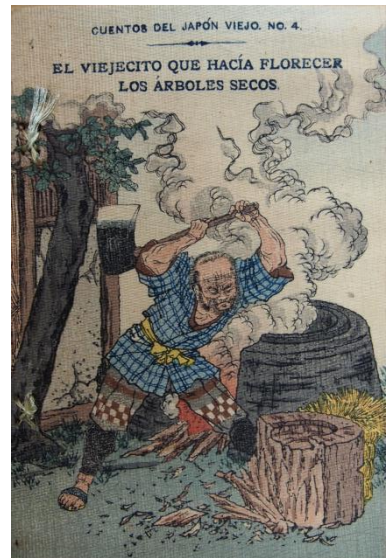
No. 4



El viejecito que
hacía florecer los
árboles secos

『花咲爺』

7丁 ; 15.2cm



No. 5



La Montaña
Kachi-kachi

『勝々山』

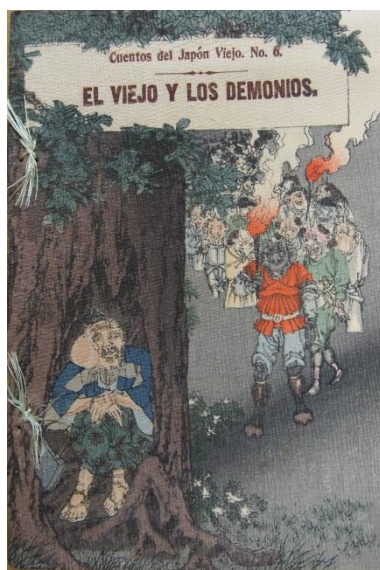
9丁 ; 15.2cm



■左列：裏表紙■



■右列：表紙■



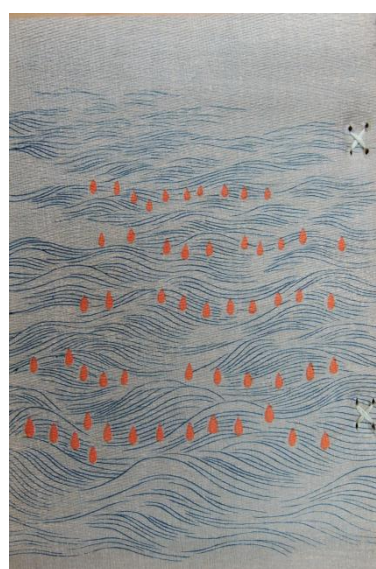
No. 6



El viejo y los demonios

『瘤取』

9丁 ; 15.2cm



No. 7



Urásima, el pescadorcillo

『浦島』

12丁 ; 15.2cm



No. 8



La venganza del raposillo

『野干の手柄』

11丁 ; 15.2cm

■左列：裏表紙■

■右列：表紙■

No. 9



Su Alteza Saco de Arroz

『俵藤太』

9丁 ; 15.2cm



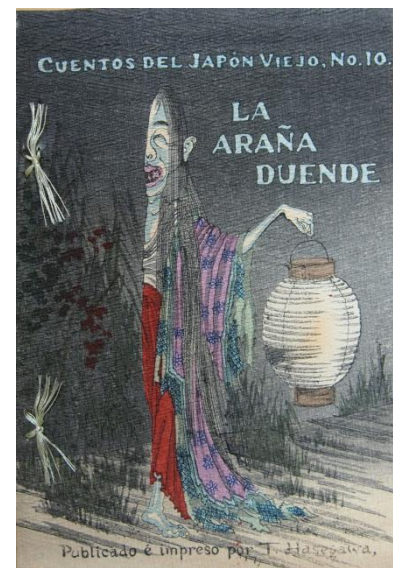
No. 10



La araña duende

『蜘蛛』

9丁 ; 15.2cm



スペイン語版ちりめん本 第二シリーズ

Leyendas y narraciones japonesas

(日本の民間伝承) 全 10 冊

■ 左列：裏表紙 ■



■ 右列：表紙 ■



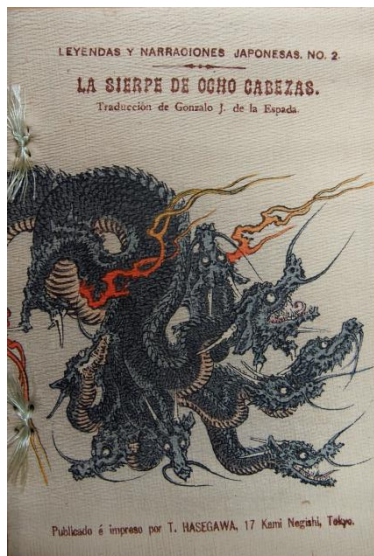
No. 1



La boda de los

『鼠嫁入』

9丁 ; 15.2cm



No. 2



La sierpe de ocho
cabezas

『八頭の大蛇』

12丁 ; 15.2cm

■左列：裏表紙■

■右列：表紙■

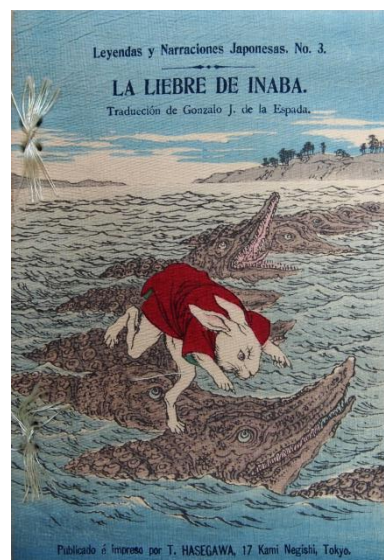
No. 3



La liebre de Inaba

『因幡の白兔』

7丁 ; 15.2cm



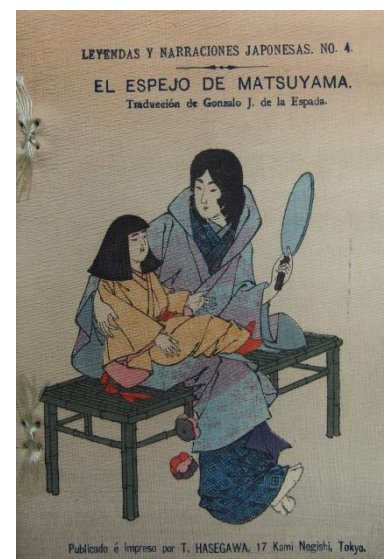
No. 4



El espejo de Matsuyama

『松山鏡』

9丁 ; 15.2cm



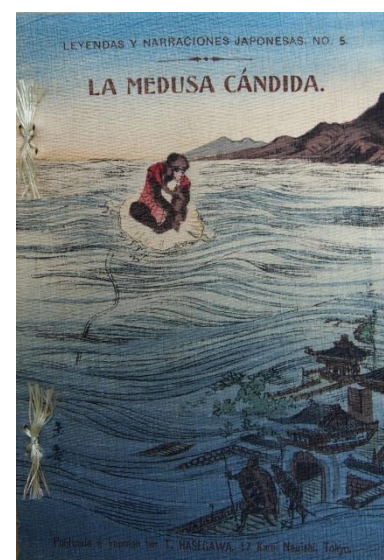
No. 5



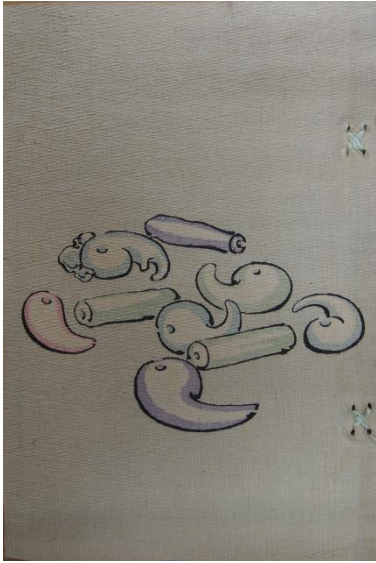
La Medusa Cándida

『海月』

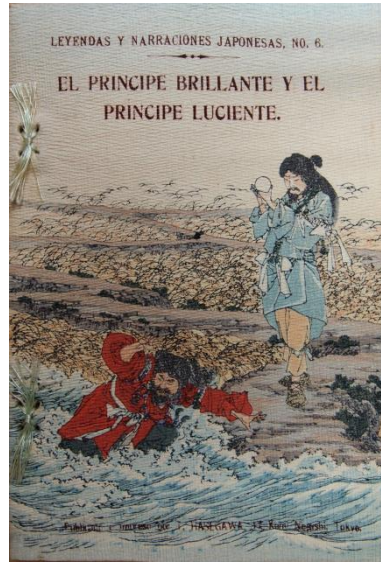
9丁 ; 15.2cm



■左列：裏表紙■



■右列：表紙■



No. 6



El Principe
Brillante y el
Principe Luciente

『玉の井』

12丁 ; 15.2cm



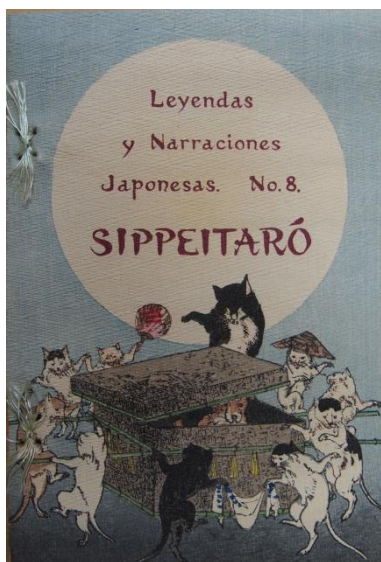
No. 7



La olla mágica

『文福茶釜』

12丁 ; 15.2cm



No. 8



Sippeitaró

『竹籠太郎』

10丁 ; 15.2cm

■ 左列：裏表紙 ■

No. 9



El brazo de ogro

『羅生門』

11 丁 ; 15.2cm



■ 右列：表紙 ■



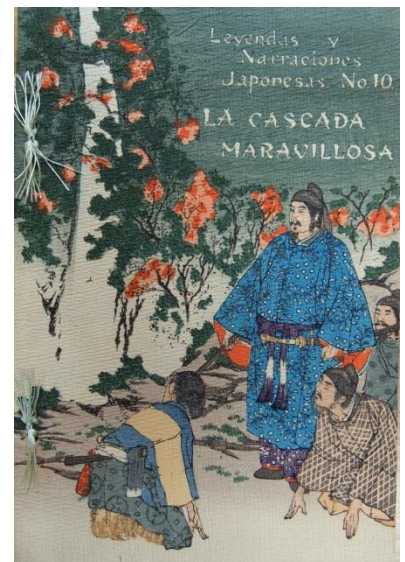
No. 10

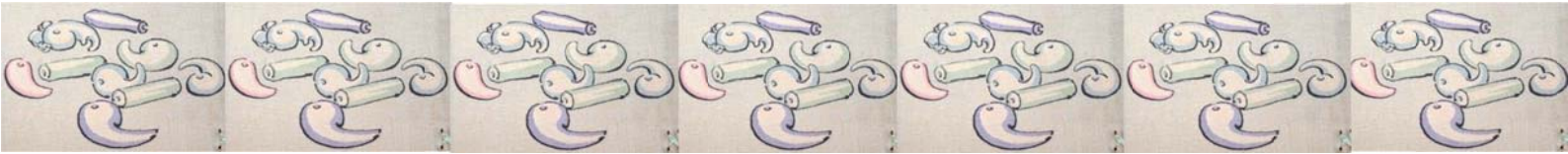


La cascada
maravillosa

『養老の瀧』

9 丁 ; 15.2cm





エスパーダ訳スペイン語版ちりめん本 全20巻 (東京, 長谷川武次郎, 1914年刊)

Cuentos del Japón viejo (日本昔話) シリーズ	Leyendas y narraciones japonesas (日本の民間伝承) シリーズ
1 Momotaró (桃太郎)	1 La boda de los ratones (鼠嫁入)
2 El gorrión con la lengua cortada (舌切雀)	2 La sierpe de ocho cabezas (八頭の大蛇)
3 La batalla entre monos y cangrejos (猿蟹合戦)	3 La liebre de Inaba (因幡の白兔)
4 El viejecito que hacía florecer los árboles secos (花咲爺)	4 El espejo de Matsuyama (松山鏡)
5 La Montaña Kachi-kachi (勝々山)	5 La Medusa Cándida (海月)
6 El viejo y los demonios (癩取)	6 El Príncipe Brillante y el Príncipe Luciente (玉の井)
7 Urásima, el pescadorcillo (浦島)	7 La olla mágica (文福茶釜)
8 La venganza del rapsillo (野干の手柄)	8 Sippeitaró (竹籠太郎)
9 Su Alteza Saco de Arroz (俵藤太)	9 El brazo de ogro (羅生門)
10 La araña duende (蜘蛛)	10 La cascada maravillosa (養老の瀧)

■エスパーダの業績

日本で出版されたちりめん本はスペイン語世界に広まることはありませんでしたが、『武士道』のほうは1909年にマドリッドで出版されました。

近年の研究によると、ちりめん本と『武士道』のほかにも、エスパーダが翻訳に取り組んだ日本関連作品が三つ明らかになっています。B・H・チェンバレン (Basil Hall Chamberlain, 1850-1935) の『Things Japanese (日本事物誌)』(1890)、パーシヴァル・ローエル (Percival Lowell, 1855-1916) の『The soul of the Far East (極東の魂)』(1888)、そしてアーネスト・W・クレメント (Ernest Wilson Clement, 1860-1941) の『A short history of Japan』(1915) です。しかしながら、これらはいずれも未完の状態に残され、当時のスペイン語圏読者の手に届くことはありませんでした。

しかし、ちりめん本については第1集『Cuentos del Japón viejo』が2009年に、ついで第2集『Leyendas y narraciones japonesas』も2013年に、マドリッドのラングレ社からそれぞれ1冊にまとめて刊行され、ようやくその全貌が本国スペインで広く目に触れる機会を得ました。

スペイン語教師として日本のスペイン語学の礎を築き、さらには翻訳者として日本文化のスペイン語圏世界への紹介者たらんとしたゴンサーロ・ヒメネス・デ・ラ・エスパーダ、文化の懸け橋としての人生とその先駆的業績は長く記憶されるに値するものといえるでしょう。

主要参考文献

東京外国語大学史編纂委員会編『東京外国語大学史』東京外国語大学, 1999.11

笠井鎮夫『スペイン語初学記：一語学教師の人生記録』昭森社, 1962.5

石澤小枝子『ちりめん本のすべて：明治の欧文挿絵本』三弥井書店, 2004.3

藤野雅子「西訳縮刷本『Japanese Fairy Tale Series』」HISPANICA, 1999(43), p.172-182, 1999

Almazán Tomás, David. "Centenario de la versión de Gonzalo Jiménez de la Espada de las leyendas y cuentos japoneses" (「スペイン語世界のことばと文化：講演録2013年度」京都外国語大学スペイン語学科, 2014, p.5-36)

Espinosa, José Pasó. "Gonzalo Jiménez de la Espada, un español en la corte del emperador Meiji" 37-66 (同上 p.37-66)

■■今回の展示では清泉女子大学附属図書館のご厚意により資料をお借りして展示しています■■



展示資料一覧

No.	編著者等	タイトル	出版事項・シリーズ	請求記号
1	東京外国語学校西班牙語同學會編	會誌 2, 8號	東京外国語学校西班牙語同學會, 1910.10-	TUFS/6/2-17/2, 8
2	—	東京外語スペイン語部八十年史：内外活動異色ドキュメント	「東京外語スペイン語部八十年史」刊行会, 1979.11-1982.3	A/377/186/1, 27
3	—	東京外国語学校一覽：從明治33年至大正3年	東京外国語学校, 1881-	TUFS/6/1-1/00-14
4	酒井一郎著, エスパルダ序	西和辭典：新譯	海外社, 1916.10	S/I/1595
5	セルバンテス作, 永田寛定訳	ドン・キホーテ. 改版	岩波書店, 1971.5-1978.9 岩波文庫, 赤(32)-721-1~4	A/9P-8/C419/1~4
6	プラスコ・イバニェス作, 永田寛定譯	死刑をくふ女	新潮社, 1924 海外文學新選, 第1編	I/III/6500/1
7	笠井鎮夫著	笠井スペイン語講座	白水社, 1954	P/a7/20/1
8	Pío Baroja y Nessi著, 笠井鎮夫訳注	マドリー下町物語	大学書林, 1957 大学書林語学文庫, No.2003	P/a7/710172
9	笠井鎮夫著	西班牙語四週問 = El espa ñ ol en cuatro semanas	大学書林, 1933.10	S/II/1476
10	エスパルダ訳	Momotaró (桃太郎)	T. Hasegawa, 1914 Cuentos del Japón viejo, no. 1	★ 本学所蔵
11	エスパルダ訳	El gorrión con la lengua cortada (舌切雀)	T. Hasegawa, 1914 Cuentos del Japón viejo, no. 2	★ 本学所蔵
12	エスパルダ訳	La batalla entre monos y cangrejos (猿蟹合戦)	T. Hasegawa, 1914 Cuentos del Japón viejo, no. 3	★ 本学所蔵
13	エスパルダ訳	El viejecito que hacía florecer los árboles secos (花咲爺)	T. Hasegawa, 1914 Cuentos del Japón viejo, no. 4	★ 本学所蔵
14	エスパルダ訳	La Montaña Kachi-kachi (勝々山)	T. Hasegawa, 1914 Cuentos del Japón viej, no. 5	★ 本学所蔵
15	エスパルダ訳	El viejo y los demonios (癩取)	T. Hasegawa, 1914 Cuentos del Japón viejo, no. 6	★ 本学所蔵
16	エスパルダ訳	Urásima, el pescadorcillo (浦島)	T. Hasegawa, 1914 Cuentos del Japón viejo, no. 7	★ 本学所蔵
17	エスパルダ訳	La venganza del raposillo (野干の手柄)	T. Hasegawa, 1914 Cuentos del Japón viejo, no. 8	★ 本学所蔵
18	エスパルダ訳	Su Alteza Saco de Arroz (俵藤太)	T. Hasegawa, 1914 Cuentos del Japón viejo, no. 9	★ 本学所蔵
19	エスパルダ訳	La araña duende (蜘蛛)	T. Hasegawa, 1914 Cuentos del Japón viejo, no. 10	★ 本学所蔵
20	エスパルダ訳	La boda de los ratones (鼠嫁入)	T. Hasegawa, 1914 Leyendas y narraciones japonesas, no. 1	★
21	エスパルダ訳	La sierpe de ocho cabezas (八頭の大蛇)	T. Hasegawa, 1914 Leyendas y narraciones japonesas, no. 2	★
22	エスパルダ訳	La liebre de Inaba (因幡の白兔)	T. Hasegawa, 1914 Leyendas y narraciones japonesas, no. 3	★
23	エスパルダ訳	El espejo de Matsuyama (松山鏡)	T. Hasegawa, 1914 Leyendas y narraciones japonesas, no. 4	★
24	エスパルダ訳	La Medusa Cándida (海月)	T. Hasegawa, 1914 Leyendas y narraciones japonesas, no. 5	★
25	エスパルダ訳	El Príncipe Brillante y el Principe Luciente (玉の井)	T. Hasegawa, 1914 Leyendas y narraciones japonesas, no. 6	★
26	エスパルダ訳	La olla mágica (文福茶釜)	T. Hasegawa, 1914 Leyendas y narraciones japonesas, no. 7	★
27	エスパルダ訳	Sippeitaró (竹籠太郎)	T. Hasegawa, 1914 Leyendas y narraciones japonesas, no. 8	★
28	エスパルダ訳	El brazo de ogro (羅生門)	T. Hasegawa, 1914 Leyendas y narraciones japonesas, no. 9	★
29	エスパルダ訳	La cascada maravillosa (養老の瀧)	T. Hasegawa, 1914 Leyendas y narraciones japonesas, no. 10	★
30	Juan Valera	Cuentos	Enrique Prieto, 1907 Obras completas de Juan Valera, t.14	S/III/572/14 個人蔵
31	Inazo Nitobe, traducido de la 13a edición del autor por Gonzalo Jiménez de la Espada (エスパルダ訳)	Bushido : el alma del Japón (武士道)	Daniel Jorro, 1909 Biblioteca científico-filosófica	個人蔵
32	Inazo Nitobe, with an introduction by William Elliot Griffis	Bushido : the soul of Japan : an exposition of Japanese thought (武士道). 10th rev. and enl. ed.	G.P. Putnam's Sons, 1905	4.1/C/N88
33	新渡戸稲造著, 矢内原忠雄訳	武士道. 第91刷改版	岩波書店, 2007.4 岩波文庫, 33-118-1, 青118-1	文庫/14/118-1
34	Basil Hall Chamberlain	Things Japanese : being notes on various subjects connected with Japan, for the use of travellers and others. 4th ed., rev. & enl.	John Murray, 1902	小林文庫/27036
35	パーシヴァル・ローエル著, 川西瑛子訳	極東の魂	公論社, 1977.7 公論選書, 8	A/389/116
36	Ernest Wilson Clement	A short history of Japan	University of Chicago Press, 1915	E/IV/404

★の資料は清泉女子大学附属図書館蔵書です